提出があった御意見一覧

番号	御意見
1	<p>この規格そのもの、当規格改正案一切を認めません。 一部の生体実験をもとに大丈夫というその認識判断はどこから来るものなのでしょうか？ 判断された方が権威ある方か知りませんが、強毒性をもつ物質を微小だから大丈夫とされる根拠がわかりません。どのくらいのスパンでこの物質を使用し続けたのでしょうか、たかだか4.50年程度の使用実績で何がわかるのでしょうか？ 微量の使用によって土壌汚染、その物質を取得した畜産物を接種した人の身体にどのような影響が出るかはわからないのが実情なのではないですか。 そのような危険な強毒な化学生成物を使用させる目的は何なのでしょう。 どこかの国から押し付けられ、消費させることがすでに決められ案だから、まだ決まっていないのだから、意見を聞いたのだから、だからだからもう決まっていますから 何を言っても聞きませんよ・・・って仰っているのでしょうか。 この省令の成分規格・改正案そのものはおかしいです。 強く反対申し上げます。</p>
2	<p>日本はなぜこんなに農薬を使っているのですか。 除草剤グリホサートは国際がん研究機関から、発がん性の懸念があると発表され、多くの国で禁止や規制が進んでいます。 しかし、日本は2017年に食品中の残留基準値を緩和して世界と逆行し、この度増量、大豆にまで使用可能にするのですか？ 日本国民の健康を守るのが政府の役目ではありませんか？ 農薬の削減を目指すべきなのに、増量、大豆新設するのは日本国民を根絶やしにしたいとしか思えません。 この法案に反対です。</p>
3	<p>アメリカ、ヨーロッパ、アジア、全世界で使用禁止になっているグリホサートがなぜ日本だけ認められるのでしょうか？ しかも、その基準を緩和するとはどういう事でしょうか。なぜ、世界と逆行するような事を日本だけさせられているのでしょうか。消費者視点ではグリホサートを使用した、飼料はもちろん食料も禁止にして欲しいです。どうしても輸入したいなら、消費者が「グリホサート使用」と分かるように生産物にも明確に記載して欲しいです。 国民の健康を守る基準作りをお願いします。 宜しくお願い致します。</p>
4	<p>単刀直入に反対します。 これ以上規制を緩めるのは、国民の健康に害しかない。 厚労省は、国民の命をなんだと思っているのか。 ワクチンといい、残留農薬の規制緩和といい、厚労省はどこかの国の行政機関ですか。</p>
5	<p>グリホサートに限らず、化学農薬、化学肥料は、土壌中の菌糸を痛めつけ、生態系を破壊するであろうことは、菌糸が植物間同士の会話の仲介役もしている（NHKスペシャルの「超進化論」参照）ことから、明らかになりつつあります。それにもかかわらず、また、農水省が現在パブコメ実施中の「農林水産省生物多様性戦略の改定案」にて、化学肥料は極力抑えて行こうとしている中で、残留基準を緩めるということは、ある意味「化学農薬の使用を推進している」ということになります。 一方、「専門家」が申請者の提出した資料を基に作成している「評価書」等で示されているADI等の数字自体にも疑念があります。申請者が提出した資料は、当然申請者に有利なものになりがちだし、評価する専門家が、完全には企業側との利害関係がゼロでない（例：食品安全委員会では企業からの報酬が年間100万円未満等の条件を満たせば委員になれる）状態では、公正な評価などできるわけがありません。 このADIに基づいて、残留基準が定められているのですから、動物へのリスク、人間へのリスクは軽視されていると言わざるを得ません。 ましてや、WHOにてグループ2A（恐らく発がん性がある）に分類されている成分です。 このようなものは、通常的安全係数100を更に100倍して10,000にするくらい、国民の健康リスクを最小化する努力をすべきです。</p>
6	<p>グリホサートが残留しているのは食べたくありません。 残留基準を厳しくするならまだしも緩くするのは考えられません。</p>
7	<p>（意見1）緩和ではなく引きしめるべきだと思います。 えん麦…30 → 10へ 大麦…30 → 10へ 小麦…30 → 3へ とうもろこし…5 → 1へ マイロ…30 → 10へ ライ麦…30 → 10へ 牧草…500 → 100へ 大豆…20 → 10へ 大豆油かす…9 → 6へ <<理由>> ①ラウンドアップ耐性雑草の出現を防ぐため。 ②ラウンドアップ（グリホサート）は、元は、ベトナム戦争で使用された枯葉剤だから。 ③牛や豚などは、飼料の見ためや形が悪くても選り好みをしないし、明らかに毒草で無ければ、雑草が混じっても問題ないと思うからです。 よろしく申し上げます。 （意見2）公布後30日（約1か月）を経過する日から施行して頂けると、日付に余裕ができるので、現場も助かると思います。 <<理由>>現場の人たちの事を考えてほしいから、です。 よろしく申し上げます。</p>